

令和7年度「ながさき水産業大賞」受賞者の概要

1. 長崎県知事賞

部門名	受賞者名	概 要
優良経営	株式会社 三井楽水産 (五島市)	五島市の人気商品「鬼鯖鮓」の生産・販売で知られ、長崎県産のマサバを浅く締めたこだわりの製法と、島外での実演販売により多くのリピーターを獲得し、五島を代表する土産品に成長。また、新加工場の整備に伴い島内に新たな雇用の場を創出している。 同社は、鯖加工残滓を地元のクロマグロ養殖業者に餌料として提供しており、残滓の廃棄ゼロとそれに伴う環境負荷の低減並びに収益の改善を実現した。こうした取組は島内における地域循環型のモデルにもなっている。
技術革新・人材育成	株式会社 将大(長崎市)	水産加工業を出発点として、惣菜・ギフト・学校給食向け商材づくりを通じて技術力を高めた後、地元ならではの素材を活かした常温水産加工品「燻製アヒージョ」を商品化し、水産土産物の販売機会の拡充に貢献している。また、低利用の彼岸ブリを活用した「ブリハンバーグ」のOEM生産など、地域発の商品化支援にも積極的に取り組んでいる。衛生管理にも重点を置き、令和7年にはJFS規格を取得するなど、味・品質・地域性を加味した商品開発体制の構築と、高付加価値な商品づくりを実現している。
魅力ある漁村づくり	ヤマナカ ヒロオ 山仲 洋紀 (壱岐市)	壱岐栽培センター所長として、新たにアカウニやカサゴ、サザエなどの種苗生産技術の導入と安定生産を行うとともに、磯焼け対策に向けた「ホンダワラ種苗生産マニュアル」作成により県内関係機関に技術を移転した。壱岐島内の磯焼け対策関連事業においては、氏の学術的知見と現場経験が活かされており、大規模な藻場の再生に多大に貢献している。また、水産教室や企業視察の受入を通じた地域振興や、半城湾クリーンアップを通じた環境保全に取り組みつつも、自らが漁業者として定置網漁業を営むなど、多方面から壱岐の水産業発展に寄与している。

2. ながさき水産業大賞運営委員会長賞

部門名	受賞者名	概 要
優良経営	有限会社 マルビシショウテン 丸菱商店 (長崎市)	戦後、長崎の市場再編期から現代に至るまで、親子三代に亘って柔軟な事業運営に努め、地元スーパーや鮮魚店への水産物の安定供給、市場ニーズの変化に対応した出荷体制の整備など、地域に根差した水産物流通の維持・発展に貢献してきた。また、長崎魚市場における輸出展開の後押しや、県産水産物の魅力発信、新たな価値創出にも積極的に取り組んでいる。一方で、仲卸業界団体の代表として、地域仲卸業の持続的な発展に向けた体制づくりにも尽力し、地域水産業の持続可能な成長に寄与している。
技術革新・人材育成	株式会社 タケシタスイサン 竹下水産 (雲仙市)	近年、事業拡大が進み、組織等が複雑化したことから、事業の再構築と併せて収益性の向上を図るため、漁獲部門は、船舶等の整備やデジタル化を進めて能力を高め、煮干加工部門は、原料の外部調達、並びに2次選別作業の導入により売上増に努めている。また、販売部門は、漁協出荷を主力に、若い人材を育て、自社ブランドの開発を進めている。さらに、部門毎に効率的な事業遂行を図り、包括的な推進能力を高めてきた。当社の永年の事業実績や雇用等は、地域に大きな貢献をもたらすとともに、経営展開は他地区の模範例となりえる。
魅力ある漁村づくり	カマタ ショウヘイ 鎌田 祥平 カマタ トモミ 鎌田 智美 (五島市)	奈留島に移住後、漁業者およびまちづくり協議会の中核的立場として水産業と島の魅力発信に貢献した。 地域と連携し、町のにぎわいの場とすべく「もやい場」を設立し、地魚を食べることができる場所の創設を通じて、地域の活力向上に貢献。さらに、移住者ならではの視点を活かして島内外の人々への魅力発信に取り組み、島の担い手育成および移住者確保にも貢献した。

3. 特別賞

部門名	受賞者名	概 要
特別	上五島養殖まぐろ 振興協議会 (新上五島町)	新上五島町内の養殖業者・商工業者・飲食店等で構成され、令和元年の設立以降、まぐろフェアやまぐろ解体ショーの継続した実施により、町内での養殖クロマグロの流通・消費に貢献している。また、ECサイトでの販売やふるさと納税の返礼品として町外での消費拡大、情報誌等でのPR活動による島外からの誘客に取り組んでおり、令和6年度に長崎県「推し魚」第一号に新上五島町の養殖クロマグロが認定された。認定を契機に町内・町外での取組をさらに推進し、認知度向上および水産物の消費拡大を通じた町の活性化を図っている。

4. 長崎県漁業協同組合連合会長賞

部門名	受賞者名	概 要
技術革新・人材育成	新松浦漁業協同 組合 福島くるまえばい養 殖場(松浦市)	ICTブイと酸素発生装置を組み合わせたシステムの導入によるスマート化を行い、養殖場の夏場のへい死軽減と生産性の向上を図り、販売高および市場単価の向上、養殖作業の負担軽減へとつなげた。そのほか、松浦市のふるさと納税返礼品への出品による地域貢献や水産教室の受け入れによる魚食普及等に取り組んだ。 また、今回導入した酸素発生装置については、他のくるまえばい養殖業者へ波及してきている。